

< タンチョウを観察される皆様へ >

～ 舞鶴遊水地でのルールとお願い ～

舞鶴遊水地は、タンチョウをはじめとする野鳥たちの貴重な生息地です。特にタンチョウは非常に警戒心が強く、繁殖期には人の気配や接近によって大きなストレスを受ける可能性があります。適切な距離を保ち、静かに見守ることが、生きものとの共生に繋がります。

< 観察時の注意事項 >

- 舞鶴遊水地の一部では、車両や徒歩による立ち入り、およびドローン等の使用を制限しております。
- タンチョウを観察する際は、近づきすぎず、車や建物の中から短時間での観察をお願いいたします。
- エサやりは絶対におやめください。
- ゴミは必ずお持ち帰りください。（カラスなどの外敵を呼び寄せる原因となります）
- 農地を含む私有地には立ち入らないようご注意ください。

< 野鳥観察ガイドの活用を >

タンチョウやその他の野鳥を観察される際は、次の「舞鶴遊水地 野鳥観察ガイド」もぜひご確認ください。観察ルールをまとめています。

https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/kasen_keikaku/kluhh40000001qwn-att/e1lg9o000000j35n.pdf

< その他のご案内 >

- タンチョウは身の危険を感じたりすると、今後長沼町や舞鶴遊水地へ来なくなる可能性もあります。
- 専門家の指導のもと、調査や維持管理のために職員が立ち入る場合があります。
- 立ち入り制限は、繁殖の終了またはヒナが十分に飛べるようになるまで継続されます。
- 制限範囲は、タンチョウの状況に応じて見直されることがあります。
- 状況に応じて、有識者の同行等の条件下で撮影が可能な場合があります。ご希望の方は、事前に長沼町政策推進課企画政策係（☎ 電話：0123-76-8015）までご相談ください。

